

春日井ロータリークラブ 2017～2018年度 WEEKLY REPORT



クラブテーマ

～ロータリアンの第一歩は、まず例会に出席しよう
そして、会員同士をよく知り「アットホーム」なクラブにしよう～

会 長 : 近藤 太門 例会日 : 金曜日 12:30～13:30
副 会 長 : 加藤 久仁明 例会場 : ホテルプラザ勝川
副 会 長 : 野浪 正毅 事務局 : 春日井市鳥居松町 5-45
幹 事 : 加藤 宗生 T E L : (0568) 81-8498
会報委員長 : 古屋 義夫 F A X : (0568) 82-0265
E-mail : Ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

ふれあい緑道

本日のプログラム

2018年4月5日(木)2362回(4月第1例会)

- ・点 鐘
 - ・国歌
 - ・ROTARY SONG
 - ・ビジター紹介
 - ・食事・歓談
 - ・委員会報告
 - ・会長挨拶
 - ・家族会
 - ・幹事報告
 - ・点 鐘
- 司会 会場委員会
近藤 太門君
- 「君が代」
「日も風も星も」
- 近藤 太門君
- 野球観戦
- 加藤 宗生君
近藤 太門君

◎例会変更のお知らせ

名古屋東	4月9日(月) 12:30～
R C	合同例会の為 名古屋東急ホテル
名古屋栄	4月9日(月)
R C	職場訪問例会の為 未定
名古屋名東	4月10日(火) → 4月9日(月)
R C	合同例会の為 未定
名古屋千種	4月10日(火) → 4月9日(月)
R C	合同例会の為 未定
名古屋大須	4月12日(木) 17:00. ～
R C	コンサートの為 日本特殊陶業市民会館
名古屋北	4月13日(金) → 4月12日(木) 17:30～
R C	IDMの為 か茂免
名古屋名東	4月17日(火) → 4月14日(土)
R C	家族会の為 未定
岩 倉	4月17日(火) → 4月15日(日)
R C	地区協議会の為 ウェスティンナゴヤキャッスル
名古屋城北	4月17日(火) → 4月15日(土)
R C	地区協議会の為 ウェスティンナゴヤキャッスル

先週の記録

会長挨拶 近藤 太門君
先週の土曜日に春日井ライオンズクラブの結成55周年の記念式典に出席をさせて頂きました。第一部の記念コンサートでは春日台特別支援学園の生徒さん達が一生懸命に楽器の演奏と、「世界に一つだけの花」の合唱、更に全盲で、プロのバイオリン奏者とのコラボレーションがあり、感動しました。第二部の記念式典では、伊藤太市長を始め酒井警察署長、長谷川市議会議員、等々が特別来賓としておられました。式典の中ではメンバーの紹介は全て名前の後に敬称ではなく「〇〇ライオン」(ライオンズクラブだから)・・・所属クラブ紹介後は全員で、両手上げて「ウオー」とライオンの遠吠えが紹介時の儀式でした。ロータリーとは違う式典の進行でした。

幹事報告 幹事 加藤 宗生君
☆3月30日(金) 休会 定款 8-1

☆4月 5日(木) ナゴヤドーム 18:00～
家族会 (持ち出し例会)

☆4月 6日(金) の例会変更
母子の健康月間

◎例会休会のお知らせ

○津島RC 4月13日(金) 休会

出席報告 委員長 梅村 守君

会員 53名	欠席 29名	出席率 45.2%
先々週の修正出席	欠席 5名	出席率 90.5%

例会予定	4月13日(金)	4月20日(金)	4月27日(金)	5月4日(金)
	第10回理事役員会 11:30～ 卓話 中川 健君	次期理事役員会 10:30～ 次期クラブ協議会 11:30～ 祝福 卓話 徳洲会病院 可児久典様	休会(定款8-1)	休会(定款8-1)

ホームページ : <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

ニコボックス報告 委員長 芝田 貴之君

○ラグビー登山の事、初めて聞きます。

近藤 太門君

○大事な商談、成就します様に。

青山 博徳君

○長澤さんの卓話、楽しみにしております。

古屋 義夫君

○登山の話を楽しみに。

宅間 秀順君

○ラグビーは協力するスポーツ、素晴らしいです。

友松 英樹君

○卓話を楽しみに。

足立 治夫君 速水 敬志君 稲垣 勝彦君

加藤久仁明君 加藤 宗生君 加藤 茂君

川瀬 治通君 風岡 保広君 貴田 永克君

近藤 秀樹君 成瀬 浩康君 大原 泰昭君

大橋 省吾君 社本 太郎君 朽本 正樹君

梅村 守君 屋嘉比良夫君 山田 治君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

卓話 ラグビー登山家 長澤 奏喜 様

こんにちは、ラグビー登山家の長澤奏喜と申します。本日はこの様な場にお呼び頂きまして有難う御座います。パワーポイントを見て頂きながら、私の愛する「ラグビー」と私の活動についてお話しさせていただきます。まずは「ラグビーW杯」についてお話します。ラグビーW杯はオリンピック、サッカーW杯に並ぶ、世界三大スポーツの祭典だと言われており、一説には、経済効果は4,300億円、訪日観光客は200万人。視聴者数は40億人と言われている。春日井市の貢献も大きく、春日丘卒業生である姫野選手が新人でありながら、トヨタ自動車ヴェルブリッツのキャプテンをしながら、日本代表で大活躍をしている。その一方でラグビー登山家の長澤は少しずつではあるが、メディアに露出しだしています。自分自身で記事を書き、メディアに寄稿している中、今までYahoo!ニュースを含む、Webメディアでは15社。新聞では、日経新聞、毎日新聞、産経新聞、読売新聞、中日新聞に載せて頂いた。現在はテレビやラジオも調整している状況です。次に、ラグビー登山に関してご説明致します。現在、私は過去ラグビーW杯に出場した25カ国の最高峰にラグビーボールをトライする冒険を手掛けており、現在11カ国の国でトライをしております。スタート地点からラグビーボールを抱えて登っており、ノックオンしたら、ラグビーのルールに則り10m下がって、スクラム姿勢をとってから再スタートをしております。今まで11カ国の中で2回だけ、ノックオンし、ちゃんとこのルールを守っている。ラグビーW杯のエン

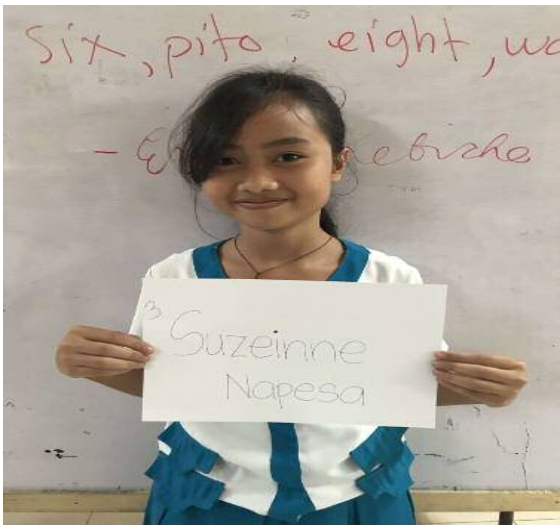
ブレムにインスピレーションを受け、日の出がラグビーボールに見え、富士山の山頂にトライをしているように見えたのがきっかけです。これを世界規模でやったら面白いことが起きるのではないかと発想により、冒険に踏み切りました。そんな私の生い立ちについてお話をさせていただきます。幼少期は転勤族ということもあり、大阪で生まれ、岐阜に引越し、最終的には隣の市である小牧市の桃花台で幼少期を過ごしました。かつて、今も陸の孤島と言われている桃花台ですが、どこかに行くとなったら小牧市街ではなく、春日井市の方が近いので、買い物する時やラグビーで怪我をした時は春日井市民病院で入院したり、受験の際は春日井市の図書館で勉強していたこともあり、春日井には親近感があったので東京からのUターンで選んだ先は小牧ではなく、春日井を選びました。小学校の時に、父親を亡くし、それ以降、思春期さながらなんですが心身のバランスが崩れ、先生や大人に見せる顔と自分の内面のギャップに苦しみました。高校からはじめたラグビーに出会い、ラグビーに救われました。県で優勝した経験もあります。大学でもラグビーを続けたのですが、BYBというサークルに入り、学生クラブというカテゴリーで日本一となり、花園でプレーしている姿を母親に見せられたことでラグビーに対して、ある種の満足感をもち、ラグビー以外にこの学生の時間で他に何かチャレンジできないかと思った時に放浪の旅をすることにしました。旅先で日本とはかけ離れた光景を見ているうちに自分自身の楽しみのためではなく、途上国の支援をしたいと思いがフツフツ芽生え、前職の会社の中で休職しながら青年海外協力隊に参加する制度があると知っていたので社会人3年目で参加しました。青年海外協力隊では当時、経済崩壊した直後のジンバブエにあり、大学でITの講師をしながら、ジンバブエの国技であるラグビーについて調べていた。これが今に繋がっている。次にラグビーは世界地図を作っているというようにお話をさせていただきます。ジンバブエに2年間ほどおり、ラグビーについてその国との歴史的な結びつきなどを興味をてら調べていたのですが、これが結構面白いんです。植民地時代、ラグビーというのは植民地支配のパッケージだったというのです。それは何か？白人がやってきて、黒人を支配するために、ルールを教えなければなりません。黒人を支配するにあたって、言葉だけでなく、身体の使い方、ルールを教えなければなりません。いきなりルールを教えようとしても、そもそもそのルールの概念が当時の黒人たちにとってはわからないものであったが、ラグビーを介して、黒人は理解したのです。また、ラグビーは土着の闘争精神と掛け合わせられている。日本は武士道と掛け合わせられ、武士を象徴

する桜がエンブレムになっております。なぜ桜なのかといえば、「咲いてはすぐに散る桜は、現世に執着せず、義のために命を捧げる」武士の生き方の象徴であったりします。イングランドはバラです。高貴にエレガントに咲くバラは英国王室を守る騎士の象徴。世界最強と言われているオールブラックスは試合前にやるハカは有名でマオリ族が戦いの前にやる儀式がある一方、オールブラックスのエンブレムであるシダ科の植物シルバーファンはマオリ族の自然崇拝の象徴。ワラビーズは、原住民であったアボリジニーのアミニズムからオーストラリアに数多く生息するワラビーズとの愛称です。ラグビーに対しての一般の声というのは、ルールがわからない。五郎丸しか知らないというものが大半。2015年前回のイングランド大会時では五郎丸ポーズといったアイコンで一気に注目されました。結局、ラグビーの魅力である複雑さが解消されない限り、ラグビーが盛り上がるというのは難しいものと思っている。ラグビー界の中でかつての五郎丸ポーズのように「わかりやすいもの」に作り出すことが必要であるとの考えのもと、ラグビーとエンブレムに描かれている山をかけあわせ、日本人が好きな「世界初！」を25回連発する。「世界初」という点で、単純さ、わかりやすさがこの冒険の訴求点です。藤井四段が29連勝をし、世間が注目したのは、その棋譜がどのような優れた棋譜だったのかというよりは数字にみんなが注目したんです。なんとなくすごいことをやっているというのを醸し出すことが重要だと思っています。ラグビー登山家からのご願いとして、まずはラグビーに興味を持って頂き、地元春日井を書の町、サボテンの町、そしてラグビーの町にしたいと思っています。そして、「ラグビー登山」を通して微力ですが、先ずは日本で行われる「ラグビーW杯2019」を皆様に知って頂くこと、そして春日井市から「ラグビー」を発信し日本に於いてラグビーが現在より普及しメジャーなスポーツになることが目標です。最後に皆様にご願いが御座います。「ラグビー登山」の活動に関しまして、仕事を辞して行っていますので、活動資金が全く足りて居りません。今年の6月からは北米最高峰のデナリ6,194mへ、7月にはヨーロッパ最高峰のエルブス5,642mへの「ラグビー登山」を行います。私の活動にも興味と関心を持って頂けるようでしたら、ご協力頂ければ幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。春日井ロータリークラブでお話させて頂いたことを大変嬉しく思っています。ご清聴頂き、有難う御座いました。

あしなが事業報告

国際奉仕委員長 岡本 博貴君





会長あいさつ 近藤 太門君



例会風景



卓話 ラグビー登山家 長澤 奏喜様



ロータリーの森 桜

